

ヒトクチャケで採集した甲虫類 II

(兵庫県甲虫相資料・235)

高橋寿郎

1987年6月に西宮市山田町船坂, 1987年7月に神戸市北区逢山峡の両地点でヒトクチャケより採集した甲虫類について, 同じ題の拙文を発表させていただいた(IRATSUME12:19-23)。その後, 沢田和宏氏より拙報中で言及していないヒトクチャケに集まる甲虫についての文献をご教示いただくとともに, そのコピーもお送りいただいた。拝見したところ, 地域的, 条件的違いもあるだろうが, 筆者の報告したもの以外の新顔も報告されていた(特に平野幸彦氏のクリイロマルチビシバンムシなど注目に値する)。この貴重な文献をご教示くださり, そのコピーをお送りくださった沢田和宏氏に厚くお礼を申し上げる。

その後, ヒトクチャケを探してはいるのだが, なかなかよいヒトクチャケに出会えず, 案外難しいものであることを痛感している。

1989年6月, 西宮市山田町船坂に, 柳の下のだジョウをと, 蜂谷幸雄氏と調べに行った。2年前にヒトクチャケが発生していたマツの樹は, 無残にも切り倒されていて跡形もない。そのあたりを見てまわったが, とうとうヒトクチャケを見ることはできなかった。余談ではあるが, このあたりにはウマノスズクサが多く, ジャコウアゲハが多く見られた。また, アカスジキンカメムシの幼虫が多数いたのを目撃している。これらはそのままの状況のようなので, 現在でもこのあたりには多くいそうである。

1989年7月14日, 加東郡社町三草の道路ぞいのマツの樹にヒトクチャケ10数個が発生しているのに久し振りに出会った。ヒトクチャケが西宮のものより小さかったので, あまり期待はもてなかったが, 蜂谷幸雄氏にそのうち7個ほど採ってもらって調べてみた。

その結果は次の通りで, 予想に反してといってはなんだが, 1種の新顔を得ることができたのでここに報告しておくことにしたい。まだまだヒトクチャケに来る甲虫類はいるだろうし, 地域的に訪問客も違うようなので, 広く調べてみたらもっと面白いかもしれない。

加東郡社町三草のヒトクチャタケより採集した甲虫類（1989年7月14日）

（○印は今回初めてヒトクチャタケより記録するもの）

○*Colenis* sp.?（タマキノコムシ科）1 ex.

チビタマキノコムシの1種であると思われるが、よくわからない。

体長1.5mm, 茶色で光沢がある。これまでヒトクチャタケからは得られていないようである。

Mycetophagus antennatus (Reitter)

ヒゲブトコキノコムシ（コキノコムシ科）4 exs.

Mycetophagus pustulosus (Reitter)

コマダラコキノコムシ（コキノコムシ科）1 ex.

Parabolitophagus felix (Lewis)

カブトゴミムシダマシ（ゴミムシダマシ科）4 exs.

Platydemus kurama Nakane

マルツヤキノコゴミムシダマシ（ゴミムシダマシ科）1 ex.

Platydemus subfascia (Walker)

ベニモンキノコゴミムシダマシ（ゴミムシダマシ科）13 exs.

Platydemus sylvestre Lewis

チビキノコゴミムシダマシ（ゴミムシダマシ科）1 ex.

Platydemus nigropictum Nakane

ヒメオビキノコゴミムシダマシ（ゴミムシダマシ科）1 ex.

Ischnodactylus loripes Lewis

ヒラタキノコゴミムシダマシ（ゴミムシダマシ科）4 exs.

参考文献

（沢田和宏氏よりご教示いただいたもの）

平野幸彦（1973）ヒトクチャタケより採集した甲虫類Ⅰ，神奈川虫報42:36-37.

西川正明（1981）ヒトクチャタケの甲虫資料，神奈川虫報64:23-25.